

一般社団法人 島田建設業協会広報誌

創つくるる

vol.149

平成28年10月1日発行

新任所長インタビュー.....	1
フリートーク.....	4
現場紹介.....	5
トピックス.....	7
市町イベント情報・わが町探訪...	9
防災日誌.....	10
協会だより.....	11



新任所長の

インタビュー

インタビュアー（梶山、山本、中林、大場）

関東農政局大井川用水農業水利事業所長

三木 秀一 氏

【略歴】

平成23年5月 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長

平成25年4月 北陸農政局整備部長

平成26年12月 北陸農政局農村計画部長



①出身地や略歴、趣味などについて

出身は兵庫県姫路市です。家族を東京に残し単身赴任しています。

農林水産省に昭和59年4月に入省後、本省を皮切りに、東北・北陸・関東農政局の国営土地改良事業所など本省又は関東農政局及び北陸農政局の本局とを行ったり来たりしました。また、農業土木試験場や、農業集落排水等の技術開発等を行う社団法人研究所、青森県庁にも出向しました。海外勤務もあり、在トルコ日本国大使館の一等書記官として3年間勤務しました。また、本省では農業農村整備に係る業務のほか、大臣官房で食料・農業・農村基本法の策定にも携わりました。

趣味は、プロ野球観戦です。12球団満遍なく見ます。以前は、近鉄バファローズのファンでした。現在は、東北楽天イーグルスをテレビで応援しています。

②最近の関心事について

農業経営をいかに発展させていくかということです。手段としては、高付加価値化、輸出、加工・業務用への取組といったことが挙げられます。例えば、米なら酒造好適米です。なぜなら、主食用米は需要が毎年8万トン減っていきませんが、日本酒の輸出量は年々右肩上がりです。この5年間で3割も伸びているからです。「日本酒」は、昨年12月に国レベルの地理的表示として指定されました。静岡県では県産の誉富士という立派な品種がありますね。誉富士で醸造された日本酒がアメリカ等に輸出されることを期待しています。野菜ならば加工・業務用ですね。生食はほぼ自給しています。加工・業務用は自給率が7割です。消費者の国産志向が高まっている中、発展の余地が大いにあります。また、高付加価値化では機能性を「売り」にすることも大事です。国民の健康志向を背景に、健康にいい成分が含まれていることをアピールできる農作物は確実に売れます。是非、県内の農業者に取り組んでいただきたいですね。

③これまでの赴任先の中で、印象に残る思い出

国営土地改良事業で施工したロックフィルダムで堤高が100mを超えるものは二つしかありませんが、そのうちの一つの榎谷ダムの施工に2年間携わったことです。ちょうど、基礎掘削の後半から基礎処理や監査廊の施工の途中まで担当しました。試験湛水の上は、現場を離れていましたが、無事に終わるまではやはり心配でしたね。もう一つは、盛岡市にある北上土地改良調査管理事務所に在任中に、管内である岩手県全域及び宮城県北半分において、東日本大震災の復興・復旧に係る調査や整備計画策定に携わったことです。暗中模索の中で、県や市町村と額を突き合わせて、この農地を単純に復旧するだけでなく、現場整備も併せてやり担い手も育成していこうかと議論したことが思い出されます。特に、石巻市及び東松島市の津波をかぶった農地を現地踏査したときには、隣り合わせで警察や消防がご遺体の捜索をされており、そんな中で、農地の復旧の事なんか考えていいのだろうかと思問せざるを得ませんでした。つらい思い出です。

④今年度の重点方針や今後の取組について

国営大井川用水土地改良事業が大詰めを迎えております。今年度は、島田市、藤枝市や菊川市に残っている、地域用水機能の發揮のための末端水路を、スケジュールどおり施工していくことです。特に、島田市では、島田1号・2号水路について来年度から通水を行えるよう残された3区間2kmを今年度中に完成させ、藤枝市では、瀬戸川左岸幹線水路について3区間2.8kmを更新整備し、完了させます。そして、来年度は、藤枝市及び焼津市に残された末端用水路（2か所）の全線の整備を終えるとともに、整備を終えた用水路等を、関係する土地改良区に円滑に管理委託していくための業務などを行います。それから、大井川から取水した用水は、農業用水のみならず、親水等景観保全や防火用水といった、地域住民の生活等に欠かせない機能を有しています。しかし、残念なが

⑤建設業に期待すること

私は、建設業はその地域にとって欠かせない「地域産業」だと思っています。それは、建設業が地域経済に与える影響が大きく、また、地域住民も産業連関でいけば裨益している方が多いからです。我々が担っている、かんがい排水、ほ場整備や畑地帯総合整備、ため池等整備などの農業農村整備事業は、産業政策として、農業の生産性の向上や高付加価値化を通じて地域経済に大きく貢献しております。この事を担ってくださっているのが建設業そのものです。

建設業界には、地域にとって欠かせない存在として、災害が起きたときに、行政と相携えて迅速に行動してくれることを期待します。

今後とも、地域に貢献する、国営土地改良事業を始めとする農業農村整備事業の推進にご理解とご協力をお願いします。





焼津漁港管理事務所長

奈木 邦夫 氏

【略歴】

平成23年4月 浜松土木事務所 企画検査課長

平成24年4月 静岡土木事務所 技監

平成26年4月 浜松土木事務所 天竜支局長

インタビュー（梶山、古川、山本、大石）

①出身地や略歴、趣味などについて

出身は島田市で、高校生まで住んでいました。

現在は磐田市に住んでおり、職場までJRで通勤しています。

趣味は家庭菜園です。

現在栽培しているものは、トウモロコシ、ゴーヤ、オクラ、ショウガ、ネギ、カイワレ大根などで、昔は畑を借りて作っていましたが、今は自宅の庭で栽培しています。

その他にゴルフがあります。下田土木での単身赴任を終えて自宅に戻ってからは控えています。

退職したら再開したいと思います。

②最近の関心事について

娘は結婚して東京都立川市に住んでおりますが、現在出産で帰省中です。

今年7月に初孫が生まれ、何より孫の成長が現在の一番の関心事となっております。

9月上旬に立川市に戻る予定でおりますので、少し寂しい思いもあります。

通勤電車では、図書館で借りたノンフィクションの様々な本を読んでいます。

東アジアの歴史を中心に世界史の勉強をしているところですよと格好良いですが、実態は「乱読」状態です。

③これまでの赴任先の中で、印象に残る思い出

平成16年度から平成18年度まで、静岡空港建設事務所に勤務し土地収用業務に携わったことが特に印象として残っています。

具体的には、立木の立ち入り調査（夏、冬に1週間から2週間に及ぶホテル泊り込みによる調査）や収用委員会、立木伐採の代執行など大変でしたが、やりがいのある業務でした。

④今年度の重点方針や今後の取組について

焼津漁港の三本柱として、水産物の安定供給、安全・安心（地震・津波対策を含む）、愛され親しまれる漁港を目指しています。

今年度は、焼津外港地区西岸壁を現況-7mから-9mへの増深・耐震化する工事に着手し、平成29年度（繰越）に完成予定です。この工事は、耐震補強としてアンカーを垂直に20m位打込む特殊な施工になります。

津波対策としては、粘り強い防波堤への改良工事の調査検討・設計業務を完了させ、来年度（平成29年度）からの本格的な工事着手を目指しています。

また、環境第8地区（多目的砂広場十芝生広場）が完成し、第1地区から第10地区までの環境整備が完了しました。

多目的広場や遊歩道、休憩施設等を整備してきましたが、このような施設の維持管理には、県・市・市民の協働が必要です。

焼津漁港では、これまで2団体をポータサポーターに認定してきました。今年度、新たに2団体を認定したところです（合計5団体）。現在、環境第8地区を対象に、1団体を認定すべく協議中です。

※ポータサポーター制度とは、利用者や地域住民がポータサポーターとして清掃や

美化活動を行い、行政（県と市）が支援するものです。

今後の取り組みとして、焼津・小川両内港の津波対策の方針を市や漁協、市民のコンセンサスを得て早期に決定し、工事着手することが大きな課題となっております。（胸壁または水門）

⑤建設業に期待すること

日常の維持管理・補修に加えて、大規模災害時（地震・津波を含む）の早期道路路啓開、復旧、復興の担い手として、力を発揮してほしいと期待しております。

そのためには、健全な経営の維持が不可欠であり、官サイドの予算確保で何とかサポートできればと考えています。

また、災害時には、国、県、市及び建設業界の横断的な4者間の協力体制が必要と考えております。





御前崎港管理事務所長

白鳥 正彦 氏

【略歴】

平成22年4月 下田土木事務所 港湾課長

平成24年4月 小山町理事

平成26年4月 静岡県交通基盤部都市計画課長

新任所長の

インタビュー

インタビュー（梶山、原、山本）

①出身地や略歴、趣味などについて

静岡市の旧井川郡口坂本出身です。小学校休みの大半は山仕事の手伝いでした。

そのため都会への憧れが強く、大学卒業後は、人口が急増し都市開発が盛んな大阪の堺市役所に勤め鉄道高架事業を担当しました。

郷里に帰るよりも都会にいたいといったところが本音でしょうか。その後は静岡に戻って県庁で主に都市計画行政を手掛けています。

趣味はスポーツ全般で、今も続けているのはサッカー、テニス、スキーです。

実は社会人になる前は運動音痴のオタク族でしたが、県土木の体育会系気質の諸先輩に鍛えられ、仲間で行う球技の楽しさに目覚めました。

こうした仲間との協同意識は災害時にも大いに役立ちますし、若い職員にも引き継いでいかなければと思っています。

②最近の関心事について

ポケモンGOブームです。

都市計画は賑わいを造る仕事でもあるので関心があります。VR（バーチャルリアリティ）技術はインフラ投資が必要なく、人の流れを変える力があり、県内でもVRを活用した試みとして、熱海市が疑似恋愛ゲームを活用した街歩きイベントを開催したり、下田市が街を舞台としたアニメを制作しファンの聖地詣を観光に結びつけるなど行っています。

事前に情報を知っていれば御前崎港のマリンパークをポケモンのすみかに認定して

もらって、夏の観光シーズンのファミリー層の集客に活かすことが可能となったかもしれません。

③これまでの赴任先の中で、印象に残る思い出

島田土木事務所川根支所の2年間です。大きな土砂災害対策を経験したのも理由

ですが、これまで携わってきた都市計画の経験が、実践のまちづくりに活用できることを実感できた場所でもあります。地元建設業の方々は郷里の発展に真剣ですし、地域の方もまとまりやすく、すべての事業が今も記憶に残っています。

④今年度の重点方針や今後の取組について

まず「安全・安心」分野の施策ですが、御前崎港を国際貿易港として物流の拠点として、大規模地震・津波災害時に素早く機能を回復し地域の復旧・復興に役立てるよう、防潮堤の整備や津波救命艇の配備を進めています。

また、5月には悪天候により港内に砂が堆積し船が座礁する事故がありました。こうした災害で損なわれた港湾機能の早期復旧も御前崎港の信頼性を高めるために重要であり最優先で取り組んでいます。

次に「活力・交流」分野の施策ですが、巨大なインフラである港湾施設を地域の活性化に役立たなければもったいないの思いはあります。

そのため港湾の利便性を高め、地域経済の活力を取り戻すための土地利用や、市のリゾート船の誘致活動の支援、観光・賑わい空間の拡充としてマリンパークやエコ

パーク活用について検討を進めていきたい。

⑤建設業に期待すること

地方創世による地域の復権では、建設業が地域の人から頼られる存在であることが重要と思っています。

今、行政サイドは合併により、住民に密着し何でも手助けする存在が少なくなっています。これまで地域の相談役である区長さん、地元の青年団、消防団も高齢化によりすぐに行動できないのが現状で、そうした役割を建設業が担わざるをえないケースが増えていと感じています。特に建設業の若手職員は地域との交流、人脈を深める活動に参加していただき、そうした情報を地元や役所と共有し、地域貢献の発想でどんな意見を言ってくください。



フリートーク

県土木部勤務の頃

私は、昭和24年(1949年)静岡県庁に就職、土木部経理課(のちの管理課)勤務となりました。

この年「建設業法」が制定施行され、その担当となり業者登録(当時は申請制のちに許可制となる)の業務に携わりました。その後、工事入札の業務も担当しました。当時は工事費150万円以上が本庁入札だったので件数も多く、多忙でした。そんな中で特に印象深かったのは、狩野川台風の災害復旧工事での入札でした。1工区1億円余の工事費のものがあり、当時、入札金額の大きさに大変驚きました。12年の管理課勤務の大半は予算経理の仕事でした。県営有料道路事業、演習場関連特設道路事業などの予算取りが思い出されます。

昭和36年4月から6年間、河川課で予算経理事務と庶務を担当しました。当時は、災害復旧など災害関連事業が多く、さらに砂防事業も分離して

おらず予算経理事務はととても多忙でした。その頃の太田川ダム工事は、当時まだ計画段階の頃です。

昭和54年4月、全国に先駆けて土木部に建設業室が設置され初代の室長に使命されました。この頃の仕事は、業界の近代化や合理化への行政サイドからの取組み、応援、建設業協会など関係団体との協調など、課題は多く忙しい毎日でした。

県庁在籍38年間の内20年間も土木部に在籍していたせいか建設関連のニュースなどを見たり聞いたりすると、未だに高い関心をもって懐かしくなります。OB会などでも話題になることしばしばです。

業界の益々の発展を祈念しています。

(島田市在住 石間 武一 氏)



若手技術職員新規雇用

このごろ身の回りの企業に若手(技術員)が少ないように思われます。

若手の育成のためには定期的に40才以下の新規採用もしくは新卒者採用を実施しなくては防げません。採用がなかなか実施できないのにはさまざまな理由があります。

一番の理由としては 新卒者の建設業ばなれが考えられ魅力がない業種となっているようです。

企業側では建設業会の仕事量の激減、企業規模の縮小化による従業員人数制限、入社後すぐ戦力がほしい等が考えられます。

また、中小企業自体に新規雇用者・新卒者を育成していくだけの余裕がない現状がある。

基本的には新規雇用者とは新しく仕事に始める方で未経験者が対象、新卒者とは学校おりにて始めて仕事につく未経験者です。

両者とも未経験者であるリスクはあるが、最初から育てあげていくので企業のメリットが大きくなる要素

を持っている。

40歳以下新規もしくは新卒者が入社してから最低でも3年から6年以上の年月が必要となる。

公共工事を受注しようとする職員資格が重視され、資格なしでは受注が制限されてしまう。

しかし、最近国・県も若手技術員採用もしくは新卒者雇用があるばあいは工事評価するようになり受注にプラスとなってきた。

中小企業としてもそろそろ世代交代期になっている現状があるので若い技術者を採用し育成たいものです。これからこの建設業界を支えてもらう為にもいろいろ諸事情あるが新規雇用・新卒者採用を取り組んでいきたい。

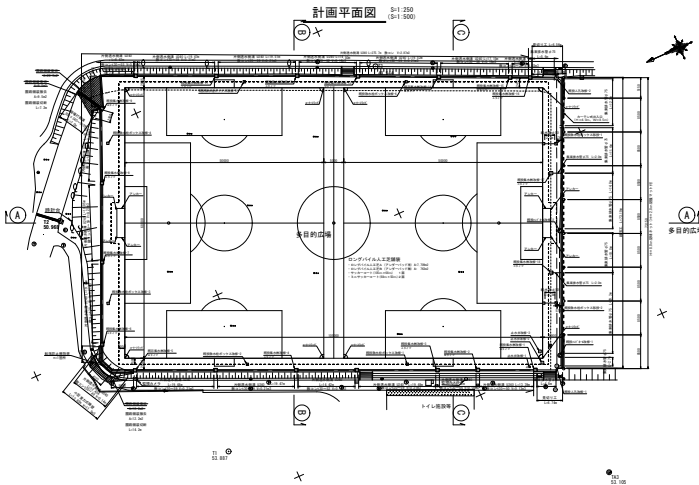
そのためには建設業の重要性を現在以上にアピールをしていかななくてはならない。

雇用が実現するように自社の特徴を外に向け発信して少しでも魅力のある企業にしていきたいと思います。

紹介

藤枝総合運動公園人工芝グラウンド整備工事 【(株)山田組】

● 工事概要 ●



工事名	藤枝総合運動公園人工芝グラウンド整備工事	
工事箇所	藤枝市原地内	
工期	平成27年9月4日～平成28年2月28日	
施工者	(株)山田組	
発注者	藤枝市長 北村正平	
現場代理人	遠藤全美	
工事概要	人工芝舗装工A・B	8,472㎡
	路盤工・基層工	8,470㎡
	側溝工	282m
	縁石工	86m
	防球ネット	73m
	路床改良工	1,050㎡



着手前



工事のポイント



当工事は、JFAロングパイル人工芝ピッチ公認を取得する人工芝グラウンド工事です。

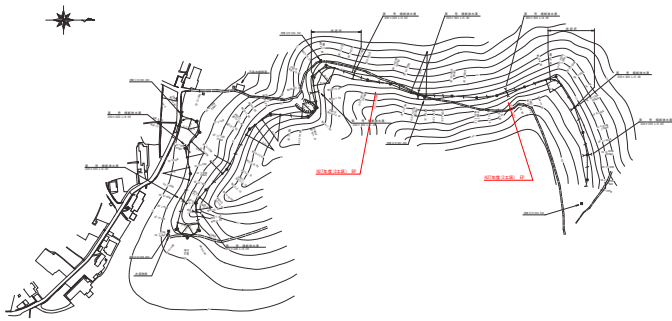
公認を得るためには、仕上がり面の平坦性を要求されます。マシンコントロールの施工により、精度の高い人工芝下地をつくり、ピッチ公認を得ることが出来ました。



現場

平成27年度道整備交付金本城下泉線1工区工事 【(株)梶山組】

● 工事概要 ●



工事名	平成27年度道整備交付金本城下泉線1工区工事	
工事箇所	静岡県榛原郡川根本町下泉地内	
工期	平成27年7月23日～平成28年3月15日	
施工者	(株)梶山組	
発注者	静岡県志太榛原農林事務所	
主任技術者	小池周作	
現場代理人	山下修久	
工事概要	林道開設 施工延長	65m
	掘削工	3,000m ³
	法面保護工	683m ²
	コンクリート路面工	225m ²
	縁石工	65m

完成



着手前



工事のポイント

林道工事は山林を切り開き道路をつくる工事なので、いかに多くの土砂を運ぶかが工程に影響してきます。そこで効率よく施工していくために、大型ダンプトラックの交差できる場所を数か所作り台数を増やします。これにより日当りの土砂運搬量を増やし工程に余裕をもたせ、多少の切土法面崩壊等のトラブルがあっても工期内完成することができます。



TOPICS

こんな事がありました



労働災害「ゼロ」を 目指して安全大会開催

建災防島田分会は、7月5日(金)に島田市金谷生きがいセンター(夢づくり会館)において、島田労働基準監督署長や島田土木事務所長など県の事務所長を来賓としてお招きし、「平成28年度島田地区建設業労働災害防止安全大会」を開催しました。

最初に会員から募集した安全標語の優秀作品の表彰を行い、続いて島田労働基準監督署の仲倉大輔第二方面主任監督官による「建設業の労働災害防止について」と題した講演、山本利彦防災委員長による労働災害防止研修が行われた。そして、最後に出席者全員による安全の誓いを唱和しました。

この後、島田土木事務所出口遵太郎査監を講師として「建設工事安全講習会」を併せて開催しました。



島田工業高校生及び 藤枝北高校生の インターンシップ実施

島田工業高校建築科11名、都市工学科10名及び藤枝北高校総合学科1名の計22名の生徒が、7月25日(月)から27日(水)までの3日間、会員会社7社においてインターンシップ(建設現場実習・就業体験)を実施しました。

参加した生徒は、熟練技術者等の指導のもと、様々な作業に前向きな姿勢で取り組んでいる様子が見られました。
ご指導いただいた皆様にお礼申し上げます。



土木技術者研修会を開催

土木・建築委員会は、島田土木事務所、焼津漁港管理事務所、御前崎港管理事務所及び志大様原農林事務所との共催により、8月5日(金)に島田市金谷生きがいセンター夢づくり会館において、土木技術者研修会を開催し150名が参加しました。

最初に静岡県工事検査課山村検査監が「工事の安全対策について」、続いて、島田労働基準監督署の仲倉監督官が「建設工事における労働災害の事例と防止対策」、最後に静岡県中部危機管理局五藤技監が、「静岡県の自然災害と危機管理」と題して講演を行いました。



親子現場見学会開催

子ども達に建設業に対する理解を深めてもらうことを目的として、毎年開催している「親子現場見学会」を今年も8月3日(水)に開催しました。

今年は、巨大地震により津波が発生した場合、公園利用者の人命を守るための施設、「県営吉田公園 津波避難施設(命山)工事現場」を見学しました。工事現場では、工事を行う大石建設(株)の担当者から工事概要の説明を受け、その後、命山の現場見学のほか参加者から現場で働く皆さんへ応援メッセージを書きました。

見学後はバスで移動し、エスパルスドリームプラザで昼食と施設見学等をした後、最後は県地震防災センターにおいて、地震のことを詳しく学びました。

お世話になりました
大石建設(株)
の社員(皆
さん、丁寧
なご対応あ
りかどうご
ざいました。





「優れた技術力」や「地域への貢献度」などが高く評価されました。

各種表彰を多数の協会員がめでたく受賞!!

静岡県が発注した土木工事等で、優れた成績を収めた優良工事や優良技術者等の表彰式が開催され、当協会員が多数受賞しました。

おめでとーございました。

静岡県交通基盤部

優良建設工事等部長表彰

7月27日(水)

於 男女共同参画センター・あざれあ

・優良技術者(島田土木事務所)

田村一義 (たむら建設(株))

杉本佳道 (株橋本組)

・地域貢献(島田土木事務所)

(株橋本組)

島田土木事務所長表彰

8月5日(金)

於 島田市金谷生きがいセンター(夢づくり会館)

・優良工事

山岸建設(株)、カネ正建設(株)

・優良技術者

馬場清人 (株梶山組)

境 祐介 (株橋本組)

福田 剛 (株橋本組)

藪崎真也 (株橋本組)

曾根 律 (株橋本組)

落合正典 (株山田組)

小林徹也 (株杉山工務店)

櫻井 保 (大石建設(株))

柴山大治 (大石建設(株))

西澤広治 (大河原建設(株))

志太榛原農林事務所長表彰

8月5日(金)

於 島田市金谷生きがいセンター(夢づくり会館)

・優良技術者

清水克弥 (株山田組)

・地域貢献

徳山建設(株)



平成28年度静岡県優秀施工者知事褒賞

建設現場で働く優れた建設技術

技能労働者に贈られる知事褒賞を、

今年度は当協会から2名の方が受賞

され、9月15日(木)に開催された「建

設産業構造改善推進のつどい」の席

上で表彰されました。

・受賞者



吉永 宏
(株)グロージオ

平出 文明
(大河原建設(株))

意見交換会を開催

7月20日(水)、県総合庁舎にて県志太榛原農林事務所、8月30日(火)、島田土木事務所にて県島田土木事務所との意見交換会が開催されました。

農林事務所との意見交換会では、農林事務所から黒柳所長はじめ9名、当協会から14名が参加、島田土木事務所との意見交換会では、島田土木事務所・市町関係者25名、当協会より18名が参加しました。

どちらの意見交換会でも、県からの情報提供、また当協会からの意見・要望に関する回答や意見交換等、非常に有意義な意見交換会となりました。





イベントカレンダー

イベントの実施・日時・会場については主催者または天候により変更する場合があります。事前に必ずご確認のうえ、お出かけください。

9/30 **藤枝大祭** **藤枝市**
10/2
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/上旬 **滝沢八坂神社神楽** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/上旬 **大旅籠柏屋観月の宴** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/中旬 **大井川流域の観光と鉄道のノスタルジックな魅力を満喫しよう SLフェスタ** **島田市**

SLフェスタは、大井川流域の市町が連携して地域資源を活かした交流事業を展開し、本物の鉄道を満喫できるイベントです。期間内には地元物産の販売や地域の人気グルメを集めたフードコートをもうけて、地域の魅力を発信します。
 ⑨島田市観光協会 ☎0547-36-7163

10/中旬 **藤枝市民文化祭** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/中旬 **殿コスモスまつり** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/8 **日本三奇祭 島田大祭帯まつり** **島田市**

元禄8年から始まり、3年に1度開催される島田の大祭りです。今年で108回目になります。

嫁いできた花嫁が大井神社に参拝した後、町中に挨拶回りをする風習がありました。町が大きくなるにつれて挨拶回りが大変になってしまうため、花嫁に代わり神輿渡御の警護役である大奴が、大太刀に花嫁の帯を下げ、安産祈願とあわせて披露するようになった事から帯祭りという名がついたそうです。
 ⑨島田市観光協会 ☎0547-46-2844

10/9 **家山八幡宮秋の祭典** **島田市**

野守の池の北側に鎮座する家山八幡宮で毎年10月第2日曜日に行われる例大祭では、子供からお年寄りまでが一同に集い勇壮な山車にお囃子で市内を練り歩きます。
 ⑨島田市観光協会 ☎0547-36-7163

10/15 **朝比奈大龍勢** **藤枝市**
 (2年毎の予定)
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/15 **寸又峡温泉 和紙のあかり展** **川根本町**

11/5 和紙を使ったあかり作品を旅館のロビーや玄関先、歩道の両側に設置し、温泉街の夜を幽玄な空間として、優しいあかりで演出します。
 ⑨川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

10/15 **ばらの丘公園 秋のフェスティバル** **島田市**

11/13 たくさんのお花が見頃です。期間中様々なイベントが開催されますので一度足を運んでみてはいかがでしょうか。
 ⑨島田市ばらの丘公園 ☎0547-37-0505

10/28 **成田山火渡り** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

10/29 **高根白山神社古代神楽** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

11/5 **ふじえだ産業祭** **藤枝市**
11/6
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

11/中旬 **イルミネーション (ルミスタふじえだ)** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

11/中旬 **奥大井ふるさとまつり** **川根本町**

大井川河川敷で名産物や特産物の青空市が開催され、各種レクリエーションやイベントも盛りだくさん。色鮮やかな紅葉を楽しみ、例年多くの人出で賑わう楽しいお祭りです。
 ⑨川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

11/中旬 **紅葉を楽しみ水辺で遊ぶ、秋の一日 童子沢親水公園もみじまつり** **島田市**

猪肉の入った童子汁の販売や、毎回大好評のお楽しみ抽選会、やまめのつかみ取り等々秋の一日を家族で楽しもう!
 ⑨島田市観光協会 ☎0547-36-7163

11/中旬 **川根のぬっくいあかり展** **島田市**

明かりアートの会の会員が制作した手作り行燈を、大井川鐵道家山駅前通り両脇歩道に灯す
 ⑨島田市川根地区センター ☎0547-53-3993

11/26 **まきのはらビタミン ツデーウォーク** **牧之原市**

11/27 牧之原市内で2日間開催されるウォーキングイベントです。ウォーキング初心者、愛好者ともに楽しむことができます。
 ⑨健康推進課 ☎0548-23-0024

11/下旬 **せとやまるかじり** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

11/下旬 **滝ノ谷不動峽もみじまつり** **藤枝市**
 ⑨藤枝市観光協会 ☎054-645-2500

12/6 **寸又峡温泉感謝祭** **川根本町**

12/7 昭和32年12月7日に温泉が湧出した記念の日を祝い、静かな山々を背景に祈りを込めた温泉開場感謝祭が執り行われます。12月初旬の凜とした空気の中でゆらぐ温泉の湯気は山里への旅情をかきたててくれます。
 ⑨川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

12/20 **川根の冬の風物詩 天王山公園イルミネーション** **島田市**

1/31 天王山公園内にある管理棟とその周辺の樹木、公園芝生広場のタワー塔に約60,000球のイルミネーションが設置され、辺り一面を輝かせています。
 ⑨NPOまちづくり川根の会 ☎0547-53-2441



わが町探訪

島田市ばらの丘公園

島田市ばらの丘公園は、切りバラ栽培が盛んな島田市に平成4年に開園しました。
 (施工:大河原建設株式会社)

1.9haの敷地に、約360種、8,700株の世界各地のバラが植栽されており、「ミスシマダ」など、ここで命名された島田生まれのバラも見ることができます。園内には、趣向を凝らしたバラ庭園や、大温室、トンネル温室があり、訪れる皆様を優雅なひと時へと誘います。

秋の見頃は10月中旬～11月末です。

島田バラの丘フェスティバルが10月15日～11月13日まで開催されています。

▶概要

住所: 〒427-0007 島田市野田1652-1 **TEL/FAX:** 0547-37-0505

開園時間: 9:00～17:00 (12月～3月は16:00まで)

休園日: 火曜日 (春・秋フェスティバル期間は無休)
 (火曜祝日の場合は、翌水曜日)、年末年始

アクセス: JR島田駅よりコミュニティバスで約10分
 自動車で国道一号藤枝バイパス野田ICより約1km

H P: www.baranoookakouen.jp



災防日誌

災害防止への取り組み

年をとる毎に忘れる事が多くなってきた私は付箋が手放せません。やるべき事柄、約束、明日の行動、買い物の中身等々多岐にわたる事柄を忘れないように付箋にメモして机やパソコンの画面廻りにぺたぺた、車の中にもぺたぺた、ガラ携や手帳にもぺたぺたと……それでも忘れてしまいます。

人間はエラーをする生き物です。忘れる・見間違い・見落とし・聞き違い・思い込み・勘違い・そして省略や慣れ等々。エラーは人間という動物の習性なのです。エラーをしない人間はこの世に一人もいません。エラーのない世界、それは感情のないコンピューターやロボットの世界でしかありえないでしょう。じゃあ我々はどうすればいいのか…



それはヒューマンエラーを引き起こす確率を少しでも減らす努力をする事、これしかありません。確率を減らす努力…指差呼称・KY活動・ヒヤリハット・手順書やチェック表の活用・安全看板安全表示・パトロール、そしてこれらがマンネリ化しないアイデア…全てヒューマンエラーとの戦いです。それでもヒューマンエラーは決してゼロにはなりません。ハード面の安全設備は進化しても、人間の習性は進化しないからです。そのことを我々は自覚しなくてはなりません。

人間が全てロボットにならない限り、ヒューマンエラーは終わりのない永遠の課題なのです。

M.U

楽しく大井川を学ぼう！ 「川まつり」開催

島田土木事務所や島田市、藤枝市など大井川流域の市町主催による第18回大井川「川まつり」が、8月19日(金)に島田市民総合施設「プラザおおるり」で開催され、352人の児童や保護者などが来場されました。

子ども達は、大井川の生き物や発電の仕組み、大井川を守る森林や飲み水など、生活とのつながりについて勉強しました。

当協会でも土木・建築委員会が、島田土木事務所川根支所と合同で笹船の作成指導を行い、大井川の模型に流して楽しむとともに、スーパボールやキャラクターボールすくいなどで楽しみました。

また、協会事業の活動の様子を写真パネルで紹介、PR用うちの配布など、島田建設業協会のPRに努めました。



協会だより ～協会のうごき～

●正副会長会議

第4回会議 8月1日(月) 当協会

- ・島田土木事務所との意見交換会の開催について
- ・役員会の懇親会について
- ・賀詞交換会の日程及び会場について
- ・島田建設業会館放送設備等修繕について
- ・島田建設業会館の夏季休館期間について

●広報委員会

第5回委員会 7月8日(水) 当協会

- ・広報誌VOL.149号の企画

第6回委員会 9月2日(金) 当協会

- ・広報誌VOL.149号の校正

第7回委員会 9月12日(月) 当協会

- ・広報誌VOL.149号の校正

●労務委員会

親子現場見学会の開催 8月3日(水)

- ・県営吉田公園津波避難施設(命山)工事現場の見学、エスパルスドリームプラザ及び県地震防災センター

●土木・建築委員会

志太榛原農林事務所との意見交換会(島田市) 7月20日(水)

島田土木事務所との意見交換会(島田市) 8月30日(火)

インターンシップ 7月25日(月)～27日(水)3日間

- ・島田工業高校生 21名(都市工学科10名、建築科11名)
- ・藤枝北高校生 1名(総合学科1名)

平成28年度静岡県交通基盤部優良建設工事等表彰(所長表彰)及び土木技術者研修の開催 8月5日(金)

島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館

- ・参加者 150名

大井川「川まつり」への参加 8月19日(金)

- ・プラザおおるり

協会PR、笹船作り指導及び大井川の模型を使った遊び

●環境・災害対策委員会

道路愛護運動への会員参加 7月1日(金)～8月23日(火)
管内全域

地震防災訓練

- ・情報伝達訓練 8月31日(水) 全会員
- ・災害応急対策協力者の出動要請・応諾訓練

8月25日 御前崎港管理事務所

9月6日 静岡空港管理事務所

9月6日～9日 島田土木事務所

●建災防島田分会

島田地区労働災害防止大会

7月5日(水) 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館

参加者 234人

安全パトロール

- ・第3回 7月21日(木)5地区

- ・第4回 8月19日(金)5地区

- ・第5回 9月13日(水)5地区

斜面講習会

9月6日(水)当協会 受講者46名

第53回全国建設業労働災害防止安全大会への参加

9月29日(水)～30日(木) 名古屋国際会議場(名古屋)



参加会員数 52社
参加人数 278名
(会員外含め402名)

8月の「道路愛護月間」は、町や住民、ボランティアが参加し、安全で快適な道路環境を確保することを目的に道路愛護運動が展開されています。
当協会においても、今年も7月から8月にかけて会員総出で、道路除草やカーブミラー・ガードレールの清掃に取り組みました。猛暑の中、大勢の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

猛暑の中、会員総出で「道路愛護」に取り組み

表紙解説

大井川上流で撮影したススキです。

ススキは秋の七草の一つです。春の七草は七草粥が有名で『食』を楽しむのですが、秋の七草は花を『観る』ことを楽しむそうです。他の秋の七草(オミナエシ、キキョウ、カワラナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギ)を頭に入れておくと、一層秋を感じることができそうです。



創る

建設業協会 広報誌 創る 第149号 平成28年10月1日

発行元：一般社団法人島田建設業協会 広報委員会

島田市中央町12-10 TEL 0547-37-7105 FAX 0547-35-5705

URL <http://www.shimadakenkyo.jp/> E-mail info@shimadakenkyo.jp

印刷：株式会社 共立アイコム 藤枝市高柳1-18-23 TEL 054-635-4651